

公共交通ネットワークの充実に向けた取組について

中野区交通政策基本方針（素案たたき台）において目標として掲げている「公共交通ネットワークの充実」に向け、鉄道や路線バス等による公共交通ネットワークの構築が難しい地域について、以下のとおりモデルとなる地域を選定し、令和3年度に新たな公共交通サービスの導入に関する検討を進める。

1 モデル地域

若宮・大和町地域（範囲の詳細は今後の調整による）

2 検討の進め方

新たな公共交通サービス導入について、必要性和導入にあたっての基本的な考え方、運営主体のあり方、運行主体・運行形態のあり方などの検討と併せ、令和4年度の実証実験の実施に向けた計画案を作成する。

また、モデル地域を対象として交通に関するアンケート調査を実施し、地域内の需要等を把握した上で、新たな公共交通サービスの導入検討を進める。

なお、計画案の作成にあたっては、令和3年度に設置を予定している（仮）中野区交通政策推進協議会において関係者調整を図る。

3 地域との調整

地域との協働で地域公共交通ネットワークを検討するため、意見交換及び調整の場として、令和3年度に勉強会を複数回（5～6回程度）開催する。

4 今後の予定

令和3年4月以降 自治会等を通じて勉強会参加者を募集、勉強会の開催

令和3年度内 実証実験計画の作成、実証実験運行に伴う手続準備

令和4年度 実証実験の実施・検証